

暑熱対策をしっかりと行いましょう

梅雨が明け気温が上昇してきたため、家畜への適切な暑熱対策が必要です。家畜は行動が制約され、涼しい場所を選ぶことができません。

暑さは家畜にとって大きなストレスとなり、採食量や乳量、増体量、受胎率、産卵率が低下し、**生産性が著しく低下します。**

また、**暑熱のストレスは日射病や熱射病等の事故につながります**ので、しっかりと対策しましょう。

畜舎への対策

- 畜舎作業中の体感から家畜の暑熱ストレスを想像する
- 温湿度計・THI(温湿度指数)表示のある気象計を用いて畜舎環境の変化を数字で把握する
- 換気扇・扇風機・ポリダクト等を使って送風する
- 扇風機等と併せて細霧装置を使用する
- 遮光ネットやひさしで遮光する
- 畜舎内外(特に屋根)に散水・放水する
- 畜舎の屋根に石灰を塗布する



扇風機による送風



屋根への散水



屋根への石灰塗布

家畜への対策

- 密飼いをしない
- 新鮮な水を常に十分飲めるようにする
- 飼料は朝夕の涼しい時間帯に与える
- ビタミン、鉱塩などのミネラルを補給する



日射病・熱射病の症状

- 食欲不振
- 開口呼吸
- 体温上昇
- 目や陰部等の粘膜の充血
- 呼吸促迫
- 脱水症状

これらの症状が見られた場合、**早めに獣医師による治療を受けましょう。**

十和田家畜保健衛生所

電話 0176-23-6235(平日) 携帯 090-6453-7023(休日・夜間)

ホームページ

十和田家畜保健衛生所

検索